

第9回江戸川総合人生大学祭

「コラボ DE リレースピーチ」



日時：2014年7月26日（土）15：15～
場所：タワーホール船堀 展示ホール内ステージ
出演：皆川栄子（介護1期）※以後「栄」と表記
皆川浩一（国際2期）※以後「浩」と表記
松岡滋子（介護3期）※以後「松」と表記
南静江（介護4期）※以後「南」と表記
小杉裕子（子ども5期）※以後「小」と表記
井上伸也（子ども6期）※以後「井」と表記
善茂作美智子（子ども7期）※以後「善」と表記
岩田将和（介護8期）※以後「岩」と表記
峯岸和英（国際学科9期）※以後「峯」と表記
五十嵐英男（子ども10期）※以後「五」として表記
司会：足立静子（介護7期）※以後「足」として表記



▲介7 足立静子

足：皆様、こんにちは。江戸川総合人生大学10周年を記念して、第1期から8期までの卒業生、そして9期、10期の在校生が今、集合しました。江戸川総合人生大学で経験したこと、そしてこれからの将来の思いを今、語っていただきますので、お聞き

ください。

栄：皆様こんにちは。江戸川総合人生大学開校10周年、おめでとうございます。介護・福祉学科1期生の皆川と申します。在学中、老化と介護の現状について色々と学びました。そのおかげで老いに対して前向きになることができました。そして現在活動の場になっている特別養護老人ホームでのボランティアと社会福祉協議会につながることができました。また同窓会では学科を超えた活動に参加して、多く

の方とふれあいハラハラ、ドキドキしながらも楽しく充実しております。この学んだおかげと感謝しております。江戸川総合人生大学のますますの発展を祈念しております。ありがとうございました。



▲介1 皆川栄子



▲国2 皆川浩一

浩：国際コミュニティ学科2期生の皆川浩一と申します。10周年おめでとうございます。人生大学に入学した理由は今話しました家内から勧められたからです。大学ではフィールドワークなど色々と学び実生活に役立ててお

ります。卒業後は特養のボランティアや社会福祉協議会の成年後見人、生活サポーターなどをやらせてもらっています。同窓会の「大人の社会見学」によく参加させていただいており、同窓会のクラス幹事の皆様にいつも感謝しております。今後人生大学が20年、30年と続くよう祈念いたします。本日はありがとうございました。



▲介3 松岡滋子

松：皆様こんにちは。介護・福祉学科3期の松岡滋子でございます。私たちはこの懐かしい船堀の教室に入学し、篠崎で卒業致しました。交差するエスカレータで皆さんと笑顔で挨拶を交わしました。一番心に残ることはとても狭

い事務局で、そこには先生方、職員の皆様、先輩後輩入り乱れて、クラス委員のミーティング、イベントの準備等、直接に素晴らしいアイデアやヒントをいただいて、楽しい要素が沸々と煮えたぎるお鍋のようでした。その中から江戸川インドダンス、江戸川ガイドグループ、夢ポスト、あいうえおの会、

杜の家等々、たくさんのグループが立ち上がり、今なお地域に根づいて活動を続けています。そのことを私たち3期生はとても誇りに思っています。ありがとうございました。



▲介4 南静江

南：こんにちは。介護・福祉学科4期の南と申します。私はそれほど大きな理想を持ってこちらに来たわけではなく、江戸川育ちではなくお友達があまりいなかったため、人の輪づくりを目的に入学しました。母の介護をしていたので、介

護・福祉学科を選びました。その間に母が亡くなり、次のやることを用意できてよかったと思いました。色々な人間が集まれるところが人生大学なのだと思いますので、私にとって大きな財産になることと思います。ありがとうございました。



▲介5 小杉裕子

小：こんにちは。子ども支援学科5期の小杉裕子です。開学10周年ということですが、この間に子ども学科だけ3回名前が変わりました。1期から3期までは子どもコース、その後は子ども支援学科でしたが、名前が固いと指摘が学生からあって、子ども・子

育て応援学科になったと聞いております。私はPTA等をやっていましたが、もう少し何かやってみたい

ということで入学しました。一番何が良かったかというと、世代の違うお友達がたくさんできたということです。大人になってからお友達を作るのはなかなか難しいことだと思います。その中で同じ5期生の仲間と立ち上げた「劇団5期」で、卒業してからずっと活動を続けられていることが一番の財産だと思っています。気負わず、楽しみながらこれからも活動を続けていきたいと思っています。ありがとうございました。

井：こんにちは。子ども支援学科6期の井上伸也と申します。学科のことは先輩から学科名が変わったという話がありましたので省略します。私は子ども



▲子6 井上伸也

支援学科という名前が気に入って入学しました。学校等で幼児から高校生まで子ども達から色々なことを教わりながらフィールドワークしながら過ごしましたが、卒業の頃に同期生と共に「ころく会」という会を立ち上げま

して、今も活動を続けています。ころく会は非常に自由な団体で、誰かがリーダーをやって、毎回その日に都合の良い人が集まるということで、直近では7月29日に子ども未来館で小学生に夏休みの工作のお手伝いをさせていただきます。学校応援団やすすくスクール、共育プラザなど色々なところで活動しておりますので、どうかこれからもよろしくお願ひ致します。



▲子7 善茂作美智子

善：皆様、ごきげんよう。「ごきげんよう」と言いながら毎週教室に入っていたことを思い出します。私は地域で民生児童委員をすることになり、そんな時に人生大学のチラシを目にしました。

入ってみて今やっていることにはっきりとは分かりま

せんが何か役立っていると思います。何が楽しかったかという、地域の方、年齢の違う方に関わられたことです。7期は4学科で7期サロンを立ち上げて毎月楽しい会を行っております。これからも皆元気で続けていければと思います。ありがとうございました。



▲介8 岩田将和

岩：みなさん、こんにちは。介護・福祉学科8期の岩田将和と申します。突然ですが皆さん、人生の目的を考えたことはありますか。少し難しいですが、人生はたった一度です。人生悔いなく生きたいので、人生の目的を考えるのはとても大事なことだと思います。私はこの大学に入って、介護・福祉学科で2年間学びました私なりに感じたことは、学ぶことの大切さ、

仲間の大切さです。そして何といたっても生きることの大切さを学びました。人それぞれ人生の目的は違うと思いますが、人生大学はまさにそんなことを考えるための最高の学び舎ですので、是非一緒に学んでほしいと思います。ありがとうございました。



▲国9 峯岸和英

でほしいと思います。ありがとうございました。

▲国9 峯岸和英 海外生活が長かったことと、地元のことを何も知らないことに気がつき、そんな時に広報で江戸川総合人生大学を知りました。海外生活をしていた時に本当にあちこちで色々な方にお世話になって、どうやって地元の人達に恩返ししたらいいか、その方法が分からなかったので、大学で学べればと思い入学しました。大学では本当にたくさんの方のことを学びました。素晴らしいな、とっているのはこの地元で全く新しい分野の友達ができたことです。大切な財産です。

五：こんにちは。子ども・子育て応援学科10期の五十嵐と申します。今から1冊の絵本をご紹介します。本のタイトルは「ちょっとだけ」です。なっちゃんとお母さん、そして生まれたばかりの赤ちゃんのお話です。その場でそっと目を閉じて静かに聞い

てください。

てください。

『公園から帰るとなっちゃんは眠たくなってきました。なっちゃんが言いました。「ママ、ちょっとだけだっこして。」

「ちょっとだけ？」ママが言いました。「うん、ちょっとだけでいいから。」なっちゃんが眠い目をこすりながら言いました。「ちょっとだけじゃなくて、いっぱいだっこしたいんですけど、いいですか？」ママは優しく笑ってもう一度聞きました。

「いいですよ！」なっちゃんもにっこり笑って言いました。なっちゃんはママのにおいをいっぱいかぎながら、いっぱいだっこしてもらいました。その間赤ちゃんにちょっとだけ我慢してもらいました。』私たち子ども・子育て応援学科10期は大学で学んだことを誰かに押し付けるのではなく、この物語のお母さんのような子育て中のご両親、そして子ども達にそっと寄り添うことで応援し、地域に貢献していきます。ありがとうございました。

足：皆様、10名の思いが伝わりましたでしょうか。ここに10月には第11期生が立ちます。私たちはこのリレーを繋げていきたいと思っています。もしまだ入学なさってない方は、私たちと一緒にリレーを繋いでみませんか。ありがとうございました。



▲子10 五十嵐英男